2025年度　非住宅木造建築技術者育成講習

環境都市実現のための木造化・木質化推進あいち協議会

平成22年の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」制定以降、公共建築物の床面積ベースの木造率は、法制定時の8.3%から令和元年度には13.8%に上昇しました。
一方で、民間建築物については、木造率の高い低層の住宅以外にも木材の利用の動きが広がりつつあるものの、非住宅分野や中高層建築物の木造率は低位にとどまっています。
こうした背景の元、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、令和3年10月1日に施行されました。
これにより、法律の題名が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に変わるとともに法の対象が公共建築物から建築物一般に拡大しました。当協議会としては非住宅建築の木造化に向けて、ソフト・ハード両面から木造に強い建築技術者を育成するために連続講座を実施します。講座の構成は、木造設計の初心者・経験者を問わず基本事項、最新の現場状況などを盛り込み講座を実施します。また非住宅木造建築の各種専門分野から講師を招き講演会も３回企画しています。併せて非住宅木造建築の現地研修も2回予定しています。全編を通じて非住宅木造建築に関する多面的なノウハウを学んでいただけます。

回	日程		講師	講座番号	講座タイトル	講座内容
1	8月27日	水	宮澤俊輔	1，2	ここまでできる木造建築	非住宅分野等の建築において、木材がここまで使えるという耐火や性能アップ、新しい部材や工法等の技術面の解説、また新しい木質建材等について品質性能等を客観的に評価・認証するAQ認証についても紹介する。
2	9月11日	木	竹中工務店	3，4	自社で取り扱う非住宅木造の事例、取組み状況の紹介等	竹中工務店が取り組んでいる非住宅木造建築・中大規模木造建築物の事例、取組課題や万博のリングの話などご紹介する。
			田口　護	5，6	森林・林業・木材産業の現状と木材の流通について	SDGSやカーボンニュートラルといった社会情勢や法の整備もあり、非住宅の木造・木質化が進められている。 我が国の森林資源が充実する中、国産材の活用に向けたコストや納期の問題解決を考える。
3	9月27日	土	久保久志	7，8	利用者を巻き込む木造施設づくり	作手小学校・つくで交流館（第18回公共建築賞（優秀賞）を始め、各賞を受賞）を中心に利用者とつくる木造施設づくりについて複数の事例からレクチャー
				9，10	試行錯誤の中大規模木造施設づくり	星の杜小学校（第17回木の建築賞始め各賞を受賞）を中心に防耐火など各分野毎の勘所を交えて木造施設づくりについてレクチャー
4	11月22日	土	大倉靖彦	11，12	中大規模木造建築の 計画・監理	最新事例をもとにプロジェクト解説
				13，14	中大規模木造建築の 計画・監理	最新事例をもとにプロジェクト解説
5	12月6日	土	山辺豊彦	15，16	中大規模木造建築物の構造設計	中大規模木造建築物の設計を行う上で、押さえておくべき構造計画と構造設計の基本を理解する。
				17，18	中大規模木造建築物の架構の事例	事例を見ながら、木造の架構と空間づくりの可能性を学ぶ
6	1月17日	土	辻充孝	19，20	地域固有の木造建築文化をつくる	近年は、運用時のCO2排出量（オペレーショナルカーボン）だけでなく、建設・改修・廃棄のCO2（エンボディドカーボン）に至るまでの総合的なCO2排出量WLC（ホールライフカーボン）も意識する必要があります。WLCを考える環境に配慮した木造建築事例を紹介します。
				21，22	ZEBのデザインフロー 10のステップ	非住宅建築の温熱、省エネ設計を段階の応じた10のステップで解説します。 敷地の読み取りから躯体性能のデザイン、設備の選定など着目点を概観します。
7	1月31日	土	支援発表	23	若手設計者に対する構造支援	
8	10月18日	土	坂口大史	24	LCA/LCCO2の未来予想図	2028年からLCA義務化の動き　　LCA/LCCO2の基本的な考え方や欧州各国の取り組み状況
			山崎真理子	25	未来を担う木造建築～森と街を繋ぐために知っておきたい木材工学～	今，木造建築は気候変動対策や国内の人工林管理の観点から世界的にも日本国内でもその価値が再評価され，ルネサンス期ともいえる華やかな時代に入っています．重要なことは，資源が持続可能であり，これに係る産業が持続的なものとなり，経済が循環すること．そして，木造建築を改めてフラットな目で見直す機会が，街の良質なストック構築の議論を呼び起こすことです．そのためには，歩留まりの向上，維持管理への展開，長寿命化を見据えた設計と利用者の意識醸成が必要です．この基本となる木材という材料について講義します．
			坂口大史 山崎真理子	26	セッション	
9	未定		非住宅木造現場研修	G1	西垣林業豊田工場・豊田森林組合・高性能林業機械現場	
10	10月4日	土	ウッドワンダーランド	G2	日本木工機械展	
11	8月2日	土	長野麻子	E1	我が国は国土が約7割が森林である。森は多くの重要な役割を果たしているが、森林資源を循環させながら活用していくには林業の振興が欠かせない。森林資源を維持し活用することの意義と林業の課題とはなにか、そして森と街を繋げるためには建築に木をもっと使うこと。さらに森にあまり馴染みがなくても、森に関与できることはたくさんある。 先人が残してくれた森を守り、後世の人が「森を残してくれてありがとう。」と思う世の中になるよう、モリ	
12	10月11日	土	海野聡	E2	森と木と建築の日本史	
13	1月31日	土	石井敏 大井幸次	E3	福祉施設の木造化・木質化	